



一般社団法人 徳島県農業会議

# 多様な 担い手に関する

## 優良事例集

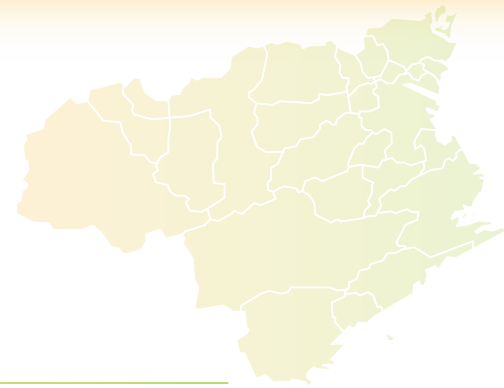
t o k u s h i m a

農業経営や就農に関する  
担い手コンシェルジュの活動記録





## 目次



### 1. 経営成長持続化研修会

中森農産株式会社 ..... P 02

株式会社クロスエイジ ..... P 03

### 2. 農業経営高度化研修会

株式会社香月菜園 ..... P 04

### 3. 特定技能2号(農業)外国人を学ぶバスツアー

### 4. アクティブシニア農業体験バスツアー

有限会社ふぁび ..... P 06

株式会社アグリサポート上板 ..... P 07

株式会社アグリベスト

株式会社小林ゴールドエッグ ..... P 08

### 5. JAバンク徳島農業経営者セミナー

株式会社れんこん三兄弟 ..... P 09

### 6. 新規就農・企業参入・スキマバイトを学ぶバスツアー

有限会社ミカモフレテック ..... P 10



# 経営成長持続化研修会

経営成長持続化研修会は先駆的な農業法人の最先端機械技術、生産技術、販路開拓、経営方針などを学び、今後の経営に活かすために開催している。

今回は、埼玉県の「中森農産株式会社」の中森剛志氏及び福岡県の「株式会社クロスエイジ」の藤野直人氏をお招きして、経営規模拡大のための方策と事業成長・販路開拓の取り組みや将来展望等について学んだ。

## 中森農産株式会社

Nakamori Agro Industry, Inc.

代表取締役 中森 剛志

**作目** 水稻、大豆、麦、トウモロコシ

**面積** 330ha

## Nakamori



### ● 規模の拡大について

就  
農

東京都の非農家出身で「農業を通して社会に貢献したい」という思いから大学卒業後、2016年に埼玉県加須市で独立就農し、2年目の2017年に法人化。

面積  
拡大

狭い範囲では農地を十分に集めることができないと考え、集約ではなく集積にこだわり、耕作範囲を10kmまで広げて年間20～30haのペースで規模を拡大。

M  
&  
A

組合長や理事の高齢化などで経営が難しくなってきた農事組合法人の子会社化など、他県への進出に伴う事業継承を複数実施し、生産拠点にかかる施設代などを削減。



研修会の動画は  
こちらから  
(4:03～)

### ● 独自の取り組み

AIの活用



日々習得する農業のビッグデータを活用し、独自のAIシステム基盤を実装。AIにより自動で農業経営を最適化し、より収益性の高い生産計画の立案を可能にした。これにより、マネージャー人材の擁立を簡単に。

その他



大学との大豆の栽培技術に関する協定の締結や有機栽培米の生産を行っている。

### ● 今後について

2050年までに10万<sup>3</sup>畝の水田を集約し、中森農産が日本の米の10%を生産することを目標にしている。





# 株式会社クロスエイジ

Crossage, Inc.

代表取締役 藤野 直人

CROSS  
AGE inc.

## ● 事業内容

農家を流通・商品・生産者の3つの側面からプロデュースする会社。「卸売業」と「コンサルティング事業」の2軸を展開しており、農家が自立して稼げる販路、稼げる商品、稼げる経営体制を作り上げることをサポートし、農業界に「スター農家」を誕生させる。



## 伝えたいこと

What I want to convey



### ① 戦略は“儲かる物語”に変換して語れ

長期的利益をゴールとして、事業理念を決定し、自社の強みやそれに関する構成要素を基にキラーパスを作成する。

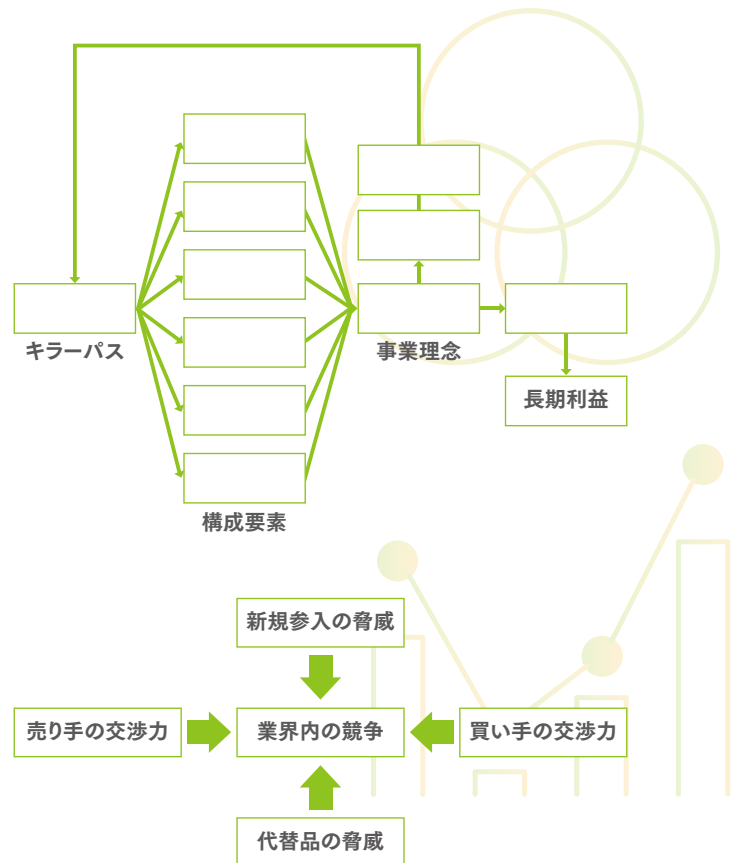
### ② 長期利益を生むのは「業界構造」と「競争戦略」の二枚刃

儲かりやすい業界とそうでない業界の見極めと他社との違いを作り、業界水準以上の利益を上げることが重要。自分の経営を見直すため、経営についてチャットAIに5フォース分析をしてもらい、自社の強みと弱みを理解することも大切。

### ③ スター農家になるためのロードマップで一歩進めましょう

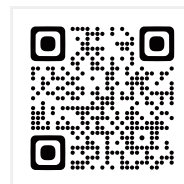
組織作りに向けた意識改革が大切。

経営を人依存から仕組み依存に変え、「事業を売却できる」状態にすることがスター農家になるための第一歩になる。



## ● 農家との取り組み開始のプロセス

「人が育たない、データ未活用、組織作りがわからない」等の悩みがある農家に対して、1時間ヒアリングによるビジョン・ゴールの共有と現状の理解をした後、事業成長・データ活用のあるべき姿の提示。その後、各施策の実施・導入状況の整理や実行計画を行う。



研修会の動画は  
こちらから  
(1:06:00 ~)

# 農業経営高度化研修会

農業経営高度化研修会は先駆的な農業法人の最先端機械技術、生産技術、販路開拓、経営方針などを学び、今後の経営に活かすために開催している。

今回は、福岡県の「株式会社香月菜園」の香月勝昭氏及び福岡県の「株式会社クロスエイジ」の藤野直人氏を招き、販路開拓のための方策と事業成長・BCP(事業継続計画)の取り組みや将来展望等について学んだ。

## 株式会社香月菜園

Katsukisaiein, Inc.



代表取締役 香月 勝昭

**作目** パクチャー、ケール、ロメインレタス、米

**面積** 18.5ha、ハウス 82 棟



### ● パクチャー栽培を始めたきっかけ

「夏場の生産が安定しない」、「季節により収入が偏り、雇用や規模拡大に踏み切れない」、「連作障害」などの課題を解決するために試行錯誤をした結果、将来性を感じパクチャーを主軸に置いた。

### ● 販路開拓のための方策

当初は100%JAに出荷していました。成長する関東産地に対抗できるようにするため、西日本地区の量販店・外食チェーンに向けて営業活動を行い、現在はJAだけでなく、中規模流通販売や大手企業へのプライベートブランド供給なども行っている。

### ● 事業計画について

連続で水害に見舞われ甚大な被害が出たこともあり、以前作成したマンダラートを見直し、改善ポイントを洗い出した。農地を分散させ、全体の3分の2は災害回避できるようにすることでリスクを軽減することを計画している。また、自社での堆肥製造や輸送を10袋入りから20袋入りへの変更、ビニールハウスを区画ごとに被覆資材の交換が可能な施工方法を採用することによりコストの削減に取り組んでいる。

ブランドアップ 輸出と手配	地域への 開拓活動	イベント出展	日本農業出版社 公刊の書籍	地域旅行や 農道と連携	ネット通販 改善	連作障害 対策と予防	データ管理	労働力
メディア活用	新規開拓	ふるさと納税	売上改善 達成	競争力	コスト削減	加工工場 4社の開設	パクチャー 生産量日本一	販路向上
ブランドアップ マーケティング	地域連携	ひらけ	利益率向上	収入増加	設備更新	海外へ販路 拡大	設備更新	経営維持
福利厚生	設備更新	労働力	新規開拓	競争力	パクチャー 生産量日本一	データ活用	販路向上	販路の拡大
販路開拓の 改善	人材力(育成)	福利厚生	人材力	販路開拓 [強い販路]	競争力	加工工場 ローテーション	競争力	販路への 貢献
設備更新 資材調達と利用	品種改良 (採口、子育て種)	販路開拓 円滑化	収入増加	生産力	設備拡大	販路開拓 策定後	販路開拓	マーケティング の強化
農地の サフトロム	付帯・継続的 農業設備投資	外資での設備	スマート化 推進	販路のニューア ル作成	外資の導入 (人材育成)	企業体	販路開拓	販路への 貢献
販路開拓	販路開拓	販路への 拡大	設備更新 円滑化	生産力	設備更新 (人材育成)	販路開拓	設備拡大	販路開拓
販路開拓 への対策	販路開拓	販路のニューア ル作成	設備更新	販路開拓	販路開拓	中規模流通	販路開拓 の強化	販路開拓

マンダラート



研修会の動画は  
こちらから  
(4:10 ~)

## 特定技能2号(農業)外国人を学ぶバスツアー



バスツアーでは、実際に外国人材を活用している農業法人の経営者など14名が参加し、初めに特定技能1号と2号の違いや外国人材の定着についての講演を受講。その後、2号の在留資格を取得した外国人が働いている(有)島本農園と(株)浜田農園を訪問した。

### ●特定技能2号とは



1号では在留期間は通算5年までであるが、2号では在留期間に上限がなくなり、配偶者や子供の帯同が可能になる。2023年に農業を含む9分野が追加された。

### ●どのようにすれば2号資格は取れるのか

取得には「2号農業技能測定試験」に合格する必要がある。同試験は農業の幅広い分野から日本語で出題されるため難易度が高い。また、パソコンを使用するCBT方式であるため、慣れていないと操作に手間取る場合がある。不合格になった場合、45日間再受験ができなくなる。



### ●「2号農業技能測定試験」の対策はどのようにしたらいいのか



(一社)全国農業会議所が発行している学習用テキスト(耕種農業全般:129ページ、安全衛生管理:46ページ)の中から出題されるため、テキストを元に勉強をする。

また、徳島県では「とくしま農林水産業『外国人材育成・定着モデル』構築支援事業」を実施している。事業では、県内の小学校で校長を務めていた武田國宏氏を講師に招き、特定技能2号試験の勉強会を12月から実施。武田氏は学習用テキストを全て理解できるまで読み込み、問題集を作成した。3月~6月の試験まで、受験者1人1人に合わせた指導で学習をサポート。受講者は仕事が終わった後にテスト対策を行い、テスト前は1~2時間程度勉強した。四国での合格率は3割程度のところ、R6年度この事業を使った外国人9名のうち8名が合格。今後、授業の映像を県内の農業者に公開することが検討されている。



### ●外国人の働きやすい環境整備について

(有)島本農園では、従業員のために空き家を買取り、宗教に配慮してキッチンを複数設置するなど居住地を整備。また米や野菜の提供、年一回の社員旅行を行っている。また、2号を取得した外国人の賃金を、(有)島本農園は月5,000円、(株)浜田農園は1時間50円増額しており、継続して働きたくなるよう心がけている。



# アクティブシニア農業体験バスツアー



農業労働力の不足が懸念される中、新たな働き手として注目されるアクティブシニアの農業分野への参画を促進する「農×アクティブシニア連携実践事業」の一環で農業の体験・見学を行うバスツアーを開催した。

## ● シルバー人材とは？

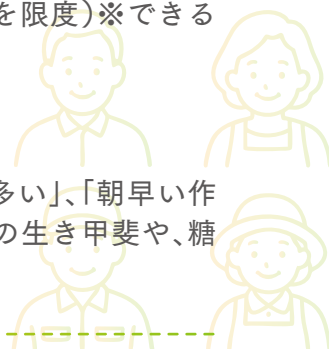
主に60歳以上の高齢者が自分の経験やスキルを活かして働き、地域社会に貢献する人材のことです。県内のシルバー人材センターの会員数は4463人。(2025年12月時点)

## ● シルバー人材の導入方法

各市町村のシルバー人材に相談することで導入ができる。(公社)徳島県シルバー人材センター連合会では初めてシルバー人材を活用する農業者に対して、時給のうち200円の奨励金を1人当たり10,000円を上限に支給するトライアル制度を実施している。(R7年度30件を限度)※できる仕事は地域によって異なる。

## ● シルバー人材活用のメリット

雇い入れには「一からマナーを教えなくても良い」や「丁寧な仕事をする人が多い」、「朝早い作業にも遅れず来てくれる」などのメリットがある。また、労働者には、働くことへの生き甲斐や、糖尿病、高脂血症のリスクが低くなる健康上のメリットがある。



## 1. 県北部(鳴門市)

### 有限会社ふぁむ

Fam Co., Ltd.

#### ① 経営品目

甘藷 (9ha)、甘藷加工品

#### ② 事業内容

甘藷を生産し、ペースト状に加工。スイートポテトへの加工や県内の洋菓子店に卸している。現在働いているシルバー人材は1日7時間勤務で約20コンテナのさつまいもの皮を剥いている。2024年度全国優良経営体表彰 6次産業化部門 農林水産大臣賞を受賞した。

#### ③ 農業体験内容

参加者はペースト状に加工するためのさつまいもの皮むき作業体験や圃場、加工工場の見学を行った。さつまいもは業務用のピーラーを使って皮が残らないよう厚めに剥いていき、大きなさつまいもは半分や3分の1に切り分けた。同社は、座り作業で自分のペースでできるよう配慮しており、シルバー人材が働きやすいようになっている。



## 2.県西部(上板町、阿波市)

### 株式会社アグリサポート上板

Agri Support Kamiita Co., Ltd.

#### ① 経営品目

ブロッコリー(15ha)、  
水稲作業支援(80ha)、  
野菜作業支援(51ha)

#### ② 事業内容

ブロッコリーの栽培を柱にして、水稲や野菜の作業受託を行い、農家の作業軽減にも努めている。現在は水稲の育苗などでシルバー人材を活用。今後は若い従業員の雇用を進め、JA徳島県管内の農業者の若返りとブロッコリーなどの作付面積を拡大し、農業界を盛り上げていく。

#### ③ 農業体験内容

事業説明を行った後、作業体験を行った。作業体験では、ブロッコリーの収穫や、JAに出荷するための調整作業として、横の葉を落としたり、軸の長さを調整したりした。正確さとスピードが求められ、手先が器用な人に適している。



### 株式会社アグリベスト

Agri Best Co., Ltd.

#### ① 経営品目

トマト(40,000㎡)

#### ② 事業内容

トマトの希少品種である「ルネッサンス」を養液栽培で生産し、糖度8以上のものを「雫果」(しずか)として出荷している。今後は、加工品のリニューアルやSNSでの発信を通じて新たなファンを獲得していく。

#### ③ 農業体験内容

事業説明を行った後、全量糖度計測を行う選別機や計量器、パッキング作業の見学を行った。

実際にシルバー人材が働く場合は、選果場で選別作業やスーパー販売用の小袋や右の写真の2種類のケースへのパッキングの作業を行う。



### 3.県東部(徳島市)

## 株式会社小林ゴールドエッグ

Kobayashi Gold Egg Co., Ltd.

### ① 経営品目

鶏卵の仕入れ販売  
(契約農家6軒・採卵鶏15万羽)

### ② 事業内容

鶏の日齢・品種・卵のサイズ・飼育方法・卵の成分などによって「ゆで卵専用卵」や「カルボナーラ専用卵」など独自に84種類に振り分けて販売。顧客からは「たまごのソムリエ」とも呼ばれ、メディアなどにも出演している。

### ③ 農業体験内容

卵の選別機などの施設説明や実際の作業体験を行った。作業体験では「レーンへの卵が入ったトレイの運搬」や洗浄、殺菌、選別された卵の「パック詰め」、「パックへのシール張り」などをそれぞれの作業スペースに分かれて行った。

(株)ゴールドエッグでは販売先ごとにシールの種類を変えていることから、作業中はトレイの向きや卵の上下、シールの種類など気をつけることも多かった。しかし、20代～90代の幅広い世代の人が働いており、現在も多くの人材が活躍しているため、職員の指導できる体制が整っており、順調に作業体験は終了した。



## 「農 × アクティブシニア連携実践事業」総合窓口

〒771-0134

徳島市川内町平石住吉209-5 徳島健康科学総合センター1階  
(公益社団法人徳島県シルバー人材センター連合会内)

TEL : 088-676-4421

URL : <https://www.chidori.co.jp/silver/>



# J A バンク 徳島 農業 経営者 セミナー

よりよい農業経営者を育成することを目的として他県の優良な事例報告を柱とした研修会を実施し、経営力の強化に努めていく。

新年初めての研修会では、レンコン栽培で先進的な経営を行ってきた茨城県稲敷市の株式会社れんこん三兄弟の代表取締役である宮本貴夫氏がどのように経営発展を遂げてきたのかを学んだ。

## 株式会社れんこん三兄弟

Renkon Three Brothers Co., Ltd.

代表取締役 宮本 貴夫

作目 れんこん

面積 42ha

### ● 事業の概要について

平成22年に法人化し、三兄弟で役割分担をして、れんこんを栽培。卸売市場、小売店、飲食店など販路によってリスク分散を図っており、直接取引する飲食店は198店舗(2024年)にもものぼる。「マネーフォワードクラウド請求書」などクラウドソフトの活用し、請求書の作成などバックオフィス業務の効率化を図っている。

### ● 経営のターニングポイント

#### ①「異なる販売方法を知る」

平成18年に部会以外への販売を初めて行ったことで、運賃、包材費等を知り、部会の販売手数料金の重みを実感した。

#### ②「経営権の移譲」

親元就農を経て、平成19年に独立し、販路や賃借などを早い段階で経験。

#### ③「正社員雇用」

平成24年に家族経営を脱却し、規律を策定し、規模と販路拡大につなげた。福利厚生費の負担について勉強不足を痛感。

#### ④「経営理念の策定」

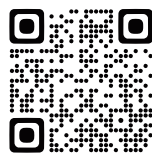
会社の存在意義と将来のリスクについて覚悟が固まった。

### ● 今後について

経営面積70%を予定し、毎年平均5%ずつ経営面積を拡大。今後は加工部門を設けるとともに、れんこんの集荷販売事業にも力を入れ「地域で儲かる農業」を目指して年間10億円の売上を目標として成長を続けていく。



れんこんで世の中を幸せにするぞ



研修会の動画は  
こちらから  
(8:35~)

# 新規就農・企業参入・スキマバイトを学ぶバスツアー



東みよし町で農業経営を引き継ぎ、企業参入を実現した有限会社ミカモフレック。その現場を訪れ、関取締役社長から新規就農者の取り組みや、スキマバイトを活用した新しい雇用についてのお話を聞いた。

## ● 有限会社ミカモフレックの事業内容

- 地勢を活かしたいちごの周年栽培(80a)
- いちごの育種、苗販売(15a)
- 高設栽培施設の開発・販売
- 同一水準でいちごを栽培する提携農家からのいちごの仕入れ販売
- 観光農園

## ● 企業参入

関氏は経営コンサルティング会社で働いていた時、ミカモフレックの事業継承先を探していたが、標高1,000mと平地の距離が近いことでいちごの周年栽培が可能であるという価値を理解して継承してくれる企業が無かった。そこで、農業法人での研修を経て、2013年に自ら経営に参画し、初年度から黒字化させた。

## ● 新規就農者への支援

町と連携し、新規就農者用のいちご栽培マニュアルを作成。農業をしたことがない人でもわかるよう説明し、わかりにくい作業などは動画で解説している。また、ハウス内環境データや生育状況を新規就農者も含めたグループ内でシェアし、生きた情報を共有している。今までに9人の新規就農を支援し、地域農業の活性化に貢献している。

## ● スキマバイトの活用

同社は2024年7月よりスキマバイト募集サービスの「タイミー」の活用を開始。同社農園、提携農家のいちごの選果、パッケージング作業をワーカーにお願いしている。

仕事の内容について動画を作成し、募集ページにリンクを掲載。事前に確認して内容を理解してもらうだけでなく、仕事のミスマッチを防いでいる。また、自ら現場に入り、作業工程や人の動きを実践して、誰もが理解・実行できる業務マニュアルを設定している。

結果として、繁忙期に人材を獲得(稼働率96%)でき、リピートしてくれたワーカーの作業性が向上して大きな戦力になった。





一般社団法人 徳島県農業会議

# 多様な担い手に関する

優良事例集

t o k u s h i m a



企画・編集

発行

徳島県農業法人協会  
一般社団法人徳島県農業会議

〒770-0011

徳島県徳島市北佐古一番町5番12号  
徳島県JA会館8階

電話：(088)678-5611 ホームページアドレス：<http://tokukaigi.or.jp/agl/>  
FAX：(088)678-5664 Eメールアドレス：[home@tokukaigi.or.jp](mailto:home@tokukaigi.or.jp)